



令和 8 年 3 月 号
杉並区立堀ノ内子供園
園 長 大塚 玲華

「目に見えない育ち」

園長 大塚 玲華

今年度もあと1ヶ月で終わろうとしています。今子供園では、年長きりん組が年中ぱんだ組に自分たちが行ってきた誕生会の司会やお休み調べ、カブトムシの世話など、様々な仕事の引き継ぎを行っています。

引き継ぎを行うのは、きりん組の子どもたちが「自分たちがいなくなっても子供園にいる年下の子が困らずに、そして、楽しく過ごすことができるように」「生き物や植物が元気でいられるように」など、自分たちの修了と周りの出来事を関連付け、自分たちがいなくなった後のことに気付いたからです。

先日、2月生まれの誕生会がありました。1月の誕生会から司会の仕事の引き継ぎを始めたので、今回は2回目です。1月の誕生会ではきりん組がぱんだ組のペアの子に司会の言葉をお手本として言ってみたり一緒に言ったりして教え、当日もタイミングを伝えながら一緒に行いました。

2月の誕生会は少し違いました。ぱんだ組の子を司会の位置まで連れて行くと、自分は隅に移動し、そっとペアのぱんだ組の子が司会の仕事をするのを見守っています。ぱんだ組の子がドキドキしながらも、お辞儀をしたり言葉を言ったりする姿を隅からじっと見て、気持ちを重ね合わせる中で、ぱんだ組が言う言葉に合わせて自分の口が思わず動く姿もありました。

2月の誕生会后、きりん組の担任の先生が子どもたちに「3月の誕生会はどうする？」と投げかけると「もうぱんだ組だけで大丈夫そう」「次は、ぱんだ組だけでできるようにしよう」という意見が子どもたちから出ました。一方で「だいぶ（司会が）出来るようになったけど、ちょっと間違えることもありそう」という声も聞かれました。確かにそうです。きりん組の子どもたちは、よくぱんだ組のことを見ていて、よく分かっているなど感じました。どうするのかなどと思い、話し合いの続きを見ていると「でも失敗しても大丈夫だよ」「間違えたら、もう一度やり直せばいいんだよ」という声があがり「3月はぱんだ組だけでするようにして、自分たちは席から見守っていよう」ということになりました。

誕生会の引き継ぎを行うきりん組の子どもたちの一連の姿を見て、私は次のような「目に見えない」力が育っていることを実感しました。

- ・自分のことだけではなく、自分の周りのことにも気持ちを向け、関連付けたり、考えたりする力
- ・相手の気持ちや姿に寄り添う心、自分がどう行動すれば良いか考える力
- ・上手くいかなくても、くじけずにもう一度行えばいいという心
- ・自分が体験し、分かったことを言葉で表現し、伝える力

これは誕生会の取組に関連した育ちですが、子供園ではこのような「目に見えない」力の育ちが様々にあります。この育ちは毎日の園生活で遊んだり、友達や先生など様々な人と関わったりして、実体験をたくさん積み重ねたことによるものです。幼児期に人と関わる力や思考力、感性や表現する力など「目に見えない」力を育むことは小学校以降、すすんで学習に取り組む姿はもちろん、人間として、社会と関わる人として生きて行くための土台となります。

きりん組の子どもたちはこの育ちを土台に、小学校でより様々な経験をして成長することを願っています。ぱんだ組、うさぎ組の子どもたちは新しい学年でたくさん遊び、人と関わり、豊かな体験を積み重ね、しっかりと育つことができるようにしていきます。

・ 今月の指導 ・

うさぎ組

入園してからあっという間に1年が経ちます。一人ひとり、保育者や子供園の環境に親しみをもち、好きなことやできることを少しずつ増やしながらか伸び伸びと過ごしてきました。最近では、「もうすぐぱんだ組になる」という期待感をもつ姿も出てきました。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 友達と一緒に過ごす中で、自分の思いを動きや言葉に出しながら遊ぶ。
- 身支度等園生活ですることが分かり、自分から取り組み、できたことを喜ぶ。
- もうすぐぱんだ組になることを楽しみにする。

友達と一緒に遊ぶことが嬉しくなりました。遊びの中で一人ひとりが「こうやってみたい」という思いをもつようになり、保育者に言葉や表情で伝えています。友達の中でも思いを出そうとするようになってきました。個々の思いを引き出す中で、幼児が思いを出せる心地よさを感じたり、自分と違う気持ちの人ともいると知ったりしていくように援助していきます。

園での1日に大まかな見通しをもち、遊びや集まり、お弁当などへの期待感から、身支度や片付けに向かっていきます。励まされながら片付けに組み、「先生に手伝ってもらわなくても綺麗にできたよ!」と、自分たちでできた満足感を味わうようになってきました。身の回りのことをやろうとする姿一つ一つを丁寧に認め、自分でできる嬉しさを支えていきます。

ぱんだ組

ぱんだ組の子どもたちは、「もうすぐきりん組さんになるんだ!」という気持ちを感じながら、はりきって過ごしています。年長組からお休み調べ当番を引き継いだり、誕生会の司会に挑戦したり、学級の中で当番活動をしたりする中で、できた喜びや自信を感じています。お別れ会に向けては、「プレゼントあげたいね」「ホールでやるのはどう?」「司会は自分たちでやりたい!」など、子どもたちで意見を出し合って準備を進めています。みんなで考えて決めたことに向けて取り組みを進める中で、きりん組さんへの感謝の気持ちやお別れを惜しむ気持ちも感じられるようにしていきます。

今月は、次のことを重点に指導していきます。

- 自分の思いを言葉で友達に伝えたり、友達の話を聞いたりして一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 年長組に進級する喜びや期待感をもち、いろいろな活動に喜んで取り組む。

年長組に進級することを楽しみにしている一方で、新しい生活に不安を感じる姿もあると思います。進級への期待や喜びを感じて進級できるよう、一人ひとりの気持ちを受け止めたり、成長を言葉にしたりして自信につなげていきます。ぜひご家庭でも進級に向けて頑張っている姿やはりきっている姿を支えてください。

きりん組

子供園で過ごす最後の月となる3月になりました。あっという間ですね。

きりん組タイムとして学級のみんなと一緒に遊んだり、修了に向けての取り組みをしたりする中で、「子供園、楽しかったね。」「そろそろ子供園が終わっちゃうね。寂しい。」と話し、学級のみんなと気持ちを共有しています。

今月はいよいよ修了式を迎えます。修了に向かう活動の中で、一人ひとりが自分の力を発揮し、友達と互いを認め合いながら、成長の実感と自信が感じられるようにしていきます。

今月は次のことを重点に指導していきます。

- 学級のみんなと園生活を楽しみ、自分たちで生活や遊びを進めていく充実感を味わう。
- 就学への喜びや期待感をもち、進んで行動しようとする。

1年間、きりん組の仲間ではいろいろな遊びや活動・行事に取り組んできました。「子供園楽しかった!」「小学校楽しみ!」という気持ちをもち、巣立っていけるようにしていきます。保護者の皆様も、残りの園生活をお子さんと一緒に楽しんでください。

